



令和7年12月2日
八王子市立船田小学校
特別支援教室やまほうし

やまほうしだより

寒さが厳しくなり、いよいよ年末が近付いてきました。早いもので、2学期は残り1か月となります。

2学期は、船田小では運動会や展覧会、城山小では50周年式典やアートフェスティバルなどの行事が行われました。子どもたちは、いつもと違う時間の過ごし方や急な予定変更などで、ペースをつかむことが大変なときもあったと思います。そんな中、自分なりの目標に向かって努力する姿がたくさん見られました。やまほうし・やまゆりでは、2学期の頑張りや成長を一緒に振り返り、3学期へと繋がる締めくくりをしています。

保護者の皆様におかれましては、2学期も特別支援教室やまほうし・やまゆりの教育にご理解とご協力いただき、ありがとうございました。3学期も、どうぞよろしくお願いいたします。

【11月の学習の紹介】



【これって常識？非常識？】

「常識・非常識」「暗黙のルール」という言葉を確認し、みんなに受け入れられる正しい言動や考え方について学習しました。まず、やまほうし劇場（教師によるロールプレイ）を見て、良くない行動とその理由を考えて、発表し合いました。つぎに、スライドに提示された様々な場面絵を見て、常識か非常識かを考えて答える〇×△クイズを行いました。最後に、一人ひとりが言葉を考えて作った「常識かるた」を用いて、みんなでかるた大会を楽しみました。



【ニセモノロボット】

自分のことや友だちのことをより深く知り、自信に繋がれるように、自己理解・他者理解について学習しました。第1時では、絵本『ぼくのニセモノをつくるには』（作：ヨシタケ シンスケ）の読み聞かせから始まりました。そして、絵本の主人公であるけんたくんの例を参考に、自分の好きなもの・嫌いなもの・できること・できないことについて考え、ワークシート（ぼくの・わたしのニセモノロボット説明書）に書き出しました。第2時では、自分の課題を卑下することなく肯定的に受け止められるように、「かえるカード」を用いて、短所を長所に変えるリフレーミングを行いました。また、第1時・第2時の最後には、友だちが書いたワークシートを読んで、メッセージカードを送り合いました。友だちとの共通点や違いに気づき、互いに認め合うことができました。



【指先運動リレー】

気持ちをコントロールしながら指先運動リレーに取り組みました。指先運動リレーは、箸ゾーン（お椀からお椀へ箸で豆をつかんで運ぶ）・紐通しゾーン（穴の開いたブロックに紐を通す）・積み木ゾーン（積み木を3つ縦に積み上げる）・紐結びゾーン（紐をかた結びをする）等の微細運動を、チーム対抗のリレー形式で挑戦しました。微細運動とは、手指を使った細かい動作のことで、日常生活や学習に必要な技能です。上手くできても、上手くできなくても、「怒らない・文句を言わない・途中でやめない・いじけない・喜び過ぎない」の5つを意識して、自分の感情のコントロールを図りながら、正しい指先の動かし方を練習しました。



